



中国日本商会

今どきコラムー104

中国雑談

日系自動車の躍進

3月16日、ドイツのフォルクスワーゲングループは2020年の財務報告を発表し、これにより、フォルクスワーゲン、BMW、ダイムラーという3社のドイツ自動車メーカーの2020年の成績表がすべて出そろった。財務報告によると、ドイツ自動車メーカーにとって中国市場の重要性は日増しに増しているようだ。

新型コロナウイルスの影響を受け、世界各国の自動車販売台数は、程度の差はあれ、いずれも減少している。中国の自動車市場は2020年下半期に迅速に上昇し、グローバル自動車企業の販売台数を支えた。フォルクスワーゲングループは中国に計380万台の自動車を引き渡したが、それは世界全体の41%に当たる。フォルクスワーゲンの中国での販売台数は前年同期比9.1%減であったが、北米・欧州・南米市場の販売台数の下げ幅は20%近くに達する。2020年のダイムラー傘下のメルセデツ・ベンツ乗用車とBMWの中国における販売台数は世界全体の36%と33.5%に達し、中でもBMWの中国での販売台数の割合は初めて30%を超えた。

一方、中国自動車工業協会のデータによると、2017年、ドイツ系ブランド乗用車の中国市場における占有率は19.6%で、日系乗用車はドイツ系よりも2.6ポイント少なかった。2020年12月には両者の市場占有率の差はわずか0.8ポイントに迫った。2021年1月～2月、ドイツ系乗用車と日系乗用車の市場占有率は22.1%と21.9%で、ほとんど差がなくなっている。

財新網の取材では、全国乗用車市場情報联席会の崔東樹秘書長は、中国自動車市場の消



費アップグレードもまた、日系車が急速に成長した一つの理由だとしている。

易車研究院の周麗君チーフアナリストの判断によると、今後二年で、トヨタ自動車の中国における販売台数はフォルクスワーゲンを超えるかもしれない。トヨタ自動車はコンパクトカーやコンパクトSUV、中型SUVの細分されたセグメントすべてに商品を展開しており、これらの市場はもともとフォルクスワーゲンが強かったゾーンであるため、トヨタ製品の影響を受け、フォルクスワーゲンの現有製品の末端販売価格はすべて下落している。それに比べるとトヨタ自動車の製品の末端販売価格は強気で、続けて新製品も投入される可能性もあると周チーフアナリストは語る。

中国市場では日系自動車はこれから躍進していくと思われる。

日本企業（中国）研究院 執行院長

chenyan5931@163.com